

個人山行

霧島：韓国岳

- ◆日程 2022年11月4日(金)
- ◆メンバー L: OT
- ◆天候 晴れ

秋も大分深まり、高山では降雪が始まっている。一方で10月末から天候が安定してきた。そこで無雪期終盤の遠征先として南九州を選んだ。文化の日 近辺で航空運賃が比較的安価な日を選び一泊二日の弾丸ツアーを敢行した。

始発の地下鉄で空港に向かい7:20発の飛行機に乗り込む。右の窓際席なので富士山などを見下ろせ、飽きることがない。鹿児島空港に下降すると眼下には霧島連山。今日の目標である韓国岳がクッキリだ。予約しておいたレンタカーで、えびの高原に向けて北上。昼近い到着のため既に駐車場はほぼ満車だ。

今回は折り畳み式のアタックザックなので、必需品を詰めても何も背負っていないかのように軽い。軽快に登り、約1時間で登頂。山頂では豪快な火口、南には大浪池のカルデラ湖、東には噴煙を上げ続ける新燃岳とその後ろに高千穂ノ峰の美しい姿が一望だ。周辺は至る所が火口なのだ。高千穂ノ峰へは縦走ルートがあるが、新燃岳が噴火警戒レベル2のため、現在通行止め。紅葉のピークは過ぎており、多少風も吹いているが気持ち良い。景色を存分に堪能して、下山開始。大浪池を経由するトラバースルートを選んだ。所々ヤマキリシマやキリシマミツバツジの鮮やかな紅葉にも出会え、ポカポカとした癒し系陽だまりハイクとなった。大浪池の縁に出ると美しい湖が一望。その後は駐車場に向けて韓国岳の斜面トラバース。これでもかとはばかりに沢を超えるアップダウンを繰り返した。駐車場近くには足湯があるが、ここは宮崎との県境だ。対して今日の目的地である指宿は鹿児島の南端にあるため、まずは先へ進む。

鹿児島側に暫く降りたところに塩浸温泉龍馬公園という温泉がある。坂本龍馬がお龍と共に薩摩に滞在した時に逗留した温泉として知られる。ここで汗を流した。平日だからなのか空いている。夕暮れに照らされる桜島を眺めながら錦江湾(鹿児島湾)沿いに走行し、食事休憩を挟み、宿泊予定地である道の駅いぶすきに到着。予約した車は軽乗用車だが一人なら余裕の広さだ。シートをフルフラットにすれば自分の身長なら足を延ばして横になれる。寝袋とアイマスクで快適に眠れた。

(記: OT)

CT: 鹿児島空港=えびの高原 11:20 - 韓国岳 12:20/12:55 - 大浪池 13:30 - えびの高原 14:20 = 塩浸温泉龍馬公園 = 道の駅指宿(泊)

